

枚方製造所

1 工場概要

- ▶ 住所 〒573-8573 大阪府枚方市中宮大池1丁目1番1号
- ▶ 従業員数 1,251名(平成18年4月1日現在)
- ▶ 敷地面積 306,084㎡(92,584坪)

2 事業概要

▶ 事業内容

- 鋳鋼事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事／営業
- ポンプ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事
- バルブ事業部門 : 研究開発／技術設計／製造・工事
- 建設機械事業部門 : 製造／営業

▶ 主要製品



MERT



縦軸斜流ポンプ



バタフライバルブ



ミニバックホー

3 工場変遷

- 昭和37年 (1962) ポンプ部門を枚方へ移転(枚方機械工場操業開始)
鋳鋼部門を枚方へ移転(枚方鋳鋼工場操業開始)
- 昭和39年 (1964) 武庫川機械工場から枚方に総合機械工場を建設移転
バルブ部門を枚方機械工場へ移転
- 昭和47年 (1972) 枚方機械工場を枚方機械製造所に改称
- 昭和49年 (1974) 小型油圧ショベル製造開始
- 昭和54年 (1979) 大型ポンプ・建設機械専用工場完成
- 昭和56年 (1981) ソフトシール仕切弁の製造開始
- 昭和59年 (1984) 枚方機械製造所・枚方鋳鋼工場・ハウス工場を統合し、枚方製造所となる
- 昭和61年 (1986) ハウス部門を別会社化し、機械部門・鋳鋼部門の構成となる
- 平成7年 (1995) 新素材開発部を枚方製造所に移転
- 平成11年 (1999) ISO14001認証取得
- 平成17年 (2005) ISO14001(2004年度版)へ移行

枚方製造所

4 環境方針

▶ ISO環境方針

クボタは、

「地球規模で持続的な発展が可能な社会」

「企業が市民と相互信頼のもとに共生する社会」

の実現をめざし、地球環境の保全に配慮した企業活動を行います。

中期方針

1. 製造所の製品、事業活動、及びそれらに関するサービスの各段階において環境汚染の予防に努める。
2. 当製造所独自の環境マネジメントシステムを通じて環境負荷の継続的改善に努める。
3. 当製造所の経済活動と環境課題を並立させるテーマを計画的改善活動によって実現させる
4. 当製造所に適用される環境関連の法規制、並びに当製造所が同意する協定等を遵守する。

短期方針 <平成18年度(117期)>

法的及びその他の要求事項遵守体制の強化

制定 1999年 3月15日

見直し 2006年 5月 1日

株式会社クボタ 枚方製造所

製造所長 河盛 邦彦

▶ ISO認証取得状況

認証取得年月日:1999年9月17日

審査登録機関:LRQA

枚方製造所

5 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2005年度		
				目標	成果	自己評価
循環型社会の形成	ゼロ・エミッション化	埋立率	—	1%以下	0.01%	◎
地球温暖化防止	CO ₂ 総排出量	t-CO ₂	1990	1990年度以下	53%	◎
	物流のCO ₂ 削減	排出量原単位	2004	▲1%	+5%	×
有害化学物質の削減	VOC大気排出量削減	排出量原単位	2004	▲1%	▲70%	◎

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 △:目標一部達成 ×:目標未達成

環境 TOPICS

充水バタフライ弁が

財団法人建材試験センターの「環境主張建設資材」適合証明を受けました

2005年9月、クボタ「充水バタフライ弁」が、財団法人建材試験センターが認定する「環境主張建設建材の適合評価」において、水道用バタフライ弁として初めて適合証明を受けました。充水バタフライ弁は、従来のバタフライ弁の弁体のみをユニークな形状とし、充水に用いられるバイパス管路と同面積の充水孔を設けたことを特徴としており、微少開度での充水作業が行えます。

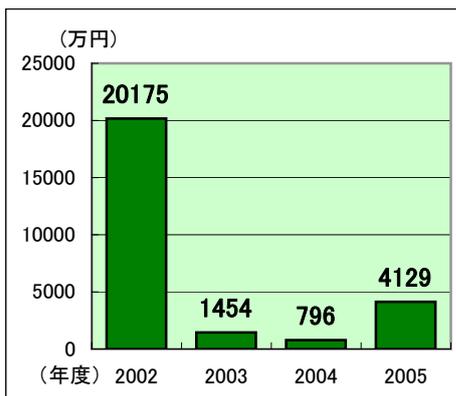
枚方製造所

6 環境会計

① 環境投資

2005年度:4129万円

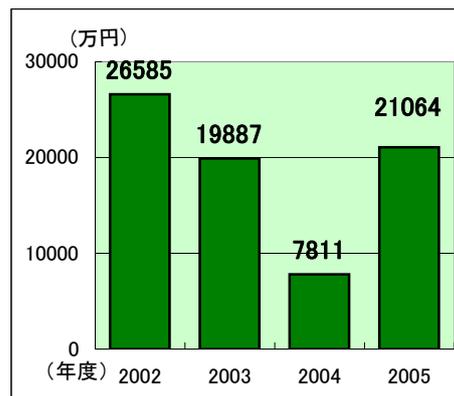
環境保全に関する投資額は4129万円となり、2004年度と比べると3,334万円増加しました。



② 環境保全費用

2005年度:21064万円

環境保全に関する費用は2.1億円となり、2004年度と比べると1.3億円増加しました。



③ 環境保全効果

効果の内容	効果	2004年度	2005年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算TJ)	759.8	763.1	3.3	100.4%
	水使用量(万m ³)	23.3	21.1	▲2.2	90.6%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	26594	26882	288	101.1%
	SO _x 排出量(t)	—	—	—	—
	NO _x 排出量(t)	1.6	13.6	12	850.0%
	ばいじん排出量(t)	1.7	3.6	1.9	211.8%
	PRTR対象物質排出・移動量(t)	14.4	4.4	▲10	30.1%
	廃棄物排出量(t)	4943.7	6813.5	1869.8	137.8%
	廃棄物埋立量(t)	26.4	0.6	▲25.8	2.3%

④ 経済効果

2005年度:9,165万円

環境保全活動に伴う経済効果は9,165万円となりました。

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	熔解作業の改善、金枠加熱方法の改善、等	2438 万円
ゼロ・エミッション化対策	有価物の売却	6727 万円
合計		9165 万円

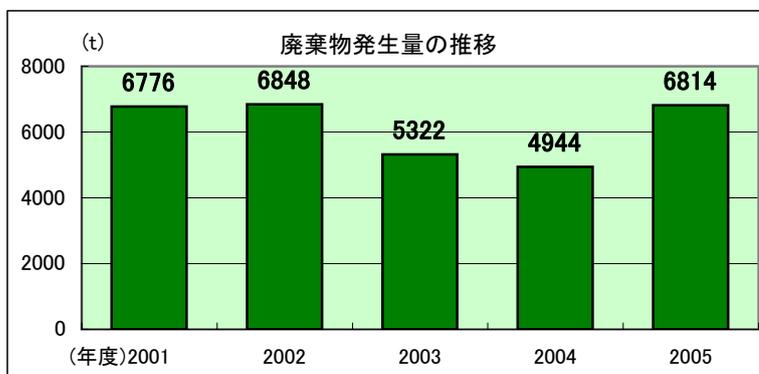
枚方製造所

7 環境パフォーマンス

① 循環型社会の形成

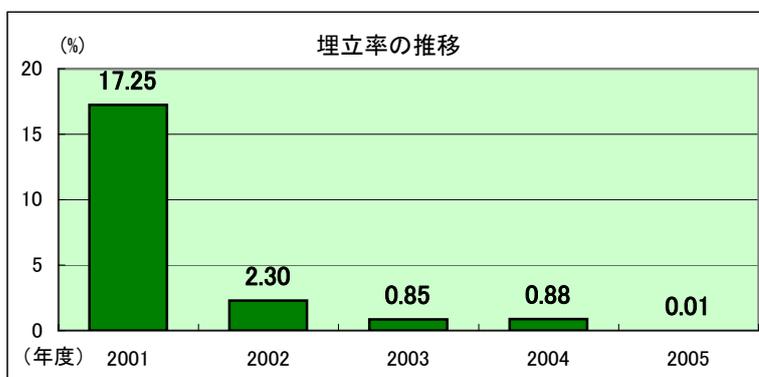
廃棄物排出量の削減

廃棄物排出量は、増産の影響もあり、2004年度比38%増となりました。



ゼロ・エミッション化

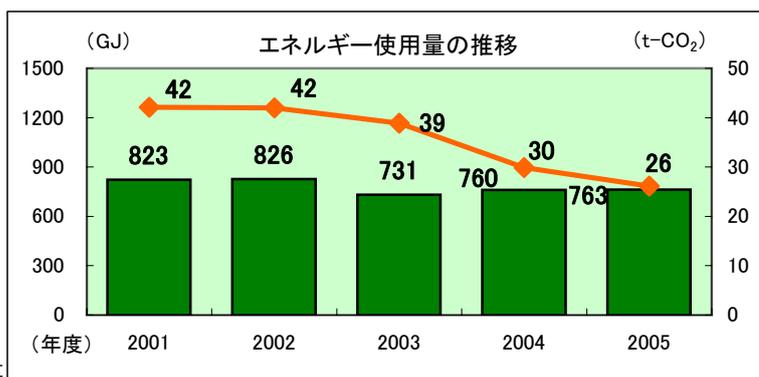
2003年度にゼロ・エミッション化を達成し、本年度も達成しました。



② 地球温暖化の防止

省エネルギー、 温室効果ガスの削減

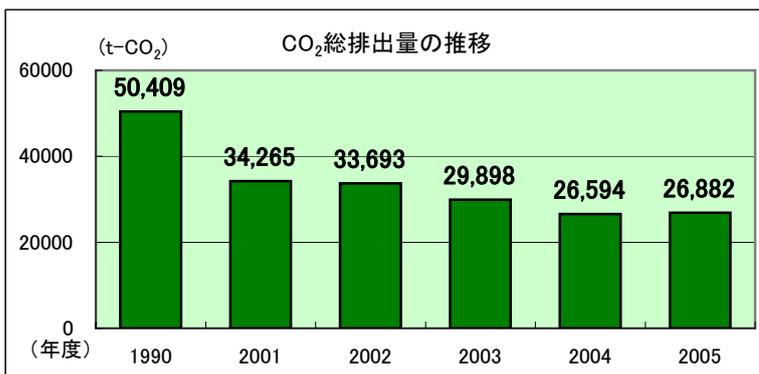
エネルギー使用量は、2004年度とほぼ同等の763(TJ)となりました。
CO₂原単位は、省エネ活動により、2004年度比13%減となりました。



◆ CO₂原単位 ■ CO₂原総排出量

CO₂総排出量の削減

CO₂排出量は2004年度とほぼ同等の2.7万t-CO₂となりました。
1990年度比では47%減となっています。



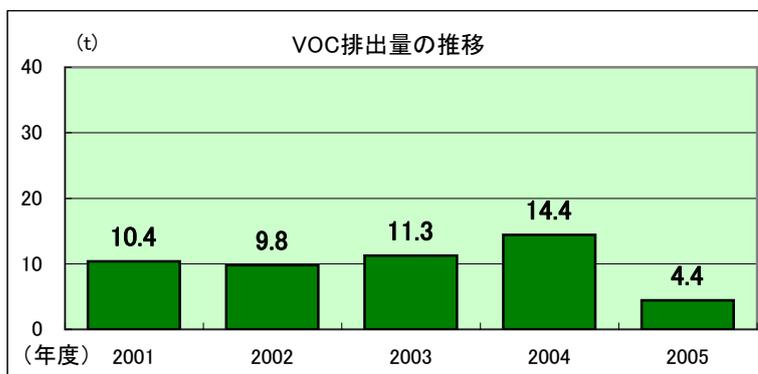
枚方製造所

③ 有害化学物質の削減

VOC大気排出量の削減

VOC発生施設全てに除害設備を設け適正管理しています。

VOC発生量は2004年度比70%削減しました。



PRTR法対象物質の排出量・移動量

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
40	エチルベンゼン	737.067	0	0	0	0	13120.34
63	キシレン	1499.234	0	0	0	0	22259.92
68	クロム及び3価クロム化合物	0	0	0	0	0	14485.98
100	コパルト及びその化合物	0	0	0	0	0	0
224	1,3,5-トリメチルベンゼン	41.725	0	0	0	0	792.119
227	トルエン	2139.995	0	0	0	0	16532.46
230	鉛及びその化合物	0	0	0	0	0	2848.72
231	ニッケル	0	0	0	0	0	10.458
304	ほう素及びその化合物	0	0	0	0	0	0
311	マンガン及びその化合物	0	0	0	0	0	11745.31
346	モリブデン及びその化合物	0	0	0	0	0	0

8 環境コミュニケーション

① 地域の皆様との交流

名称 天の川大清掃
日付 2005年11月5日

名称 打水大作戦
日付 2005年7月21日



天の川清掃



打水大作戦

② 地域美化活動

名称 所外周クリーンアップ作戦
日付 2005年10月6日
参加人数 90名

名称 ボランティア・ウォーク
日付 2005年5月28日
参加人数 304名



所外周クリーンアップ作戦



ボランティア・ウォーク

枚方製造所

9 サイトデータ

▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	5229.25	514035.3
	石炭コークス	t	0	0
	都市ガス	千m ³	4970.7	223681.5
	灯油	kℓ	142.1	5215.07
	軽油	kℓ	528.44	20186.41
	重油	kℓ	0	0
	LPG	t	0	0
	他			
合計			763118.3	

水使用量	万m ³	21.0834
------	-----------------	---------

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	26882
---------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		熱処理炉			塗装脱臭装置			吸収式冷暖房機		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値	規制内容	規制値	測定値
SO _x	総量規制・ K値規制とも	m ³ N/h	※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用			※硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NO _x	総量規制: 濃度規制:	m ³ N/h, ppm	総量規制	1.31	0.534	総量規制	1.78	0.356	濃度規制	0.04	0.012
ばいじん	g/m ³ N	濃度規制	0.1	0.015	濃度規制	0.2	0.016	濃度規制	0.05	—	

排水	放流先	項目	単位	B排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	—	5.8~8.6	7.26
		BOD	mg/l	25	4.7
		COD	mg/l	25	6.4
		窒素	mg/l	120	6.91
		りん	mg/l	16	0.48
		六価クロム	mg/l	0.05	ND
		鉛	mg/l	0.01	ND
		COD総量規制値	kg/日	49.93	2.64
		窒素総量規制値	kg/日	52.6	2.62
		りん総量規制値	kg/日	6.26	0.18
下水道		pH	—	—	—
		BOD	mg/l	—	—
		COD	mg/l	—	—
		SS	mg/l	—	—

廃棄物排出量	t	6813.5
再資源化率	%	98.98